

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	商工観光課		
	係名	商工振興係		
	記入者		電話(内線)	217

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	商工業振興事業(商業・工業)				(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	33201	(総合計画掲載ページ 102 ページ)				会計区分	一般会計	
基本目標(政策)	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)			財源区分		市単独		
基本施策	3-3活気にあふれた商業の振興(商業)			予算科目		款 7	項 1	目 3
施策	②にぎわいのある商業の振興			予算書上の		商工業振興事業費		
施策内容	1商工業振興支援(商業)			事業名称		(予算書 125 ページに掲載)		
(5) 事業期間	開始		年	月から	(8) 事務分類			
	終了		年	月まで (力年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
市内事業者(結城商工会議所、結城紬関係団体等)に対し、 中小企業振興に関する経費や、結城紬振興に関する経費等 について、補助金を交付する。	○結城商工会議所地内の小規模事業者の経営及び技術の改善発達 が図られる。 ○市内住宅関連事業者の就業機会の確保と、長期定住化が図られる。 ・伝統工芸の普及と後継者の育成
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
○中小企業相談事業 結城商工会議所が実施する中小企業相談所職員設置事 業、及びリーディング事業にかかる必要経費を補助する。 ○住宅リフォーム資金補助金 住宅の改良または改修を行う市民に対し、リフォーム資金の 一部を補助する。 ・各団体に対する補助金支出 ・伝統工芸技術習得材料の支給 ・伝統工芸関係団体への負担金支出	中小企業相談事業については、商工会議所内に設置された「中小企業 相談所」が実施する経営改善普及事業に対し、組織の機能強化を目的 に創設された制度である。住宅リフォーム補助金については、平成21年 度より国の地域活性化・緊急経済対策事業として事業を開始し、平成 23年度より、社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施している。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
本市の商業は、JR結城駅北側を中心に発展してきたが、市民の消費行動が郊外型に変化したことや、大型店舗の立地や商店街の後継 者不足などにより、北部中心市街地は衰退し、国道50号沿線に商業施設が集中している。 住宅リフォーム資金補助金については利用率が高く、経済効果も高いことから継続の意見を受けている。 結城紬の生産量は昭和50年代をピークに徐々に減少し、平成26年度には1379反とピーク時の5%以下に激減しており、生産量の減少と後 継者不足が問題となっている。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
実施計画							
● 予算内訳		実績額(千円)		当初予算額(千円)		計画額・見込額(千円)	
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 事務事業費	事業費						
	報償費	86	170				
	旅費	90	312				
	需用費	57	172				
	役務費	0	15				
	使用料及び賃借料	0	27				
	原材料費	504	505				
	負担金補助及び交付金	22,913	24,387				
	貸付金	5,000	5,000				
	合計	28,650	30,588				
財源	国庫支出金(千円)	1,662	2,250				
	県支出金(千円)						
	地方債(千円)						
	その他特定財源(千円)	5,000	5,000				
	一般財源(千円)	21,988	23,338				
	合計(千円)	28,650	30,588				
	補助・起債制度名	社会資本総合整備 交付金、貸付元金	社会資本総合整備 交付金、貸付元金				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）				指標の名称	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）										
指標名	中小企業相談指導件数	目標値	件		1,500	1,500	1,500	1,500		
		実績(見込)値		1,303	1,500					
	住宅リフォーム資金補助金 支給件数	目標値	件		50	50	50	50		
		実績(見込)値		40	50					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）										
指標名	中小企業相談指導件数	目標値	件		1,500	1,500	1,500	1,500		
		実績(見込)値		1,303	1,500	1,500	1,500	1,500		
		達成率		86.9 %	100.0 %					
	住宅リフォーム資金補助金 補助対象経費	目標値	円		70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	
		実績(見込)値		76,602,868	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000		
		達成率		109.4 %	100.0 %					
5. 事業評価										
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。										
各種補助金交付団体に対し、適正な事業の遂行を指導した。 住宅リフォーム資金補助金のお知らせ版への広報を、年2回から4回に増やした。										
(2) 項目別評価										
評価項目・客観的評価				理由						
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	結城市の商工業の発展には、各種事業への補助は必要であり、必要性は高いと言える。						
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市内事業者育成の観点から、行政が実施すべき事業である。						
	手段の妥当性	B	どちらとも言えない	現状に大きな変化はなく、衰退している分野もあるため、現在の手段が最適とは言えない。						
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	各種団体の経済状況について、大きな改善が見られない。						
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	地場産業への手厚い支援があるため、全体としてはどちらとも言えない。						
有効性	成果の向上	A	上がっている	住宅リフォームについては、補助額に対し20倍以上の対象工事経費があり、大きな経済効果がみられる。						
進捗度	事業の進捗	A	順調である	各団体とも事業計画に対し、一定の成果は上げている。						
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。										
中小企業相談事業については、補助対象経費は年々減少しているが、補助額は定額化している。 住宅リフォームについては大きな経済効果があり、また、市内の住宅関連会社に優位な制度ではあるが、制度が市民に十分に認知されておらず、工事開始及び終了後に本制度に関する問い合わせがあり、クレームとなることがある。										
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？										
各補助金交付団体に対しては、事業の実施状況を十分に把握し、適正額を支給することとする。 住宅リフォーム資金補助金については、これまで以上に広報活動を展開することにより、市民への周知を図る。										
6. 事業の方向性判断										
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠					
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。					
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			各団体に対する補助事業の、現状把握と分析を図り、将来を見据えた事業展開ができるよう働きかける。 結城紬や桐製品等は、本市の伝統産業であることから、今後も支援は継続し、商工業の更なる振興を図っていく。					
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。					